

「子どもの健康と環境に関する全国調査」とは・・・

略称はエコチル調査。子どもの健康に環境汚染物質が与える影響が解明されておらず、子育てへの不安が広がっていることを踏まえ、胎児期から小児期にかけての環境汚染物質へのばく露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期・大規模な追跡調査。

【調査内容】

3年間募集 ↓ 調査対象者(10万組の親子)を募集・登録

13年間追跡 ↓

- 妊娠中** 質問票調査
母親の血液・尿・毛髪、父親の血液採取
- 出産時** 出生児の健康状態の確認
臍帯血の採取
- 1ヶ月後** 健診、質問票調査
母乳、子どもの毛髪採取
- 13歳誕生日まで** 健診、質問票調査
子どもの尿の採取



化学物質等の測定
試料の長期保存等

遺伝要因、生活習慣要因、社会要因等と
併せて統計分析

子どもの健康に与える
環境要因の影響を解明

※日本再生戦略 / ライフ成長戦略30～31頁
(重点施策:15万人規模のバイオバンク構築による東北発の次世代医療等の実現)

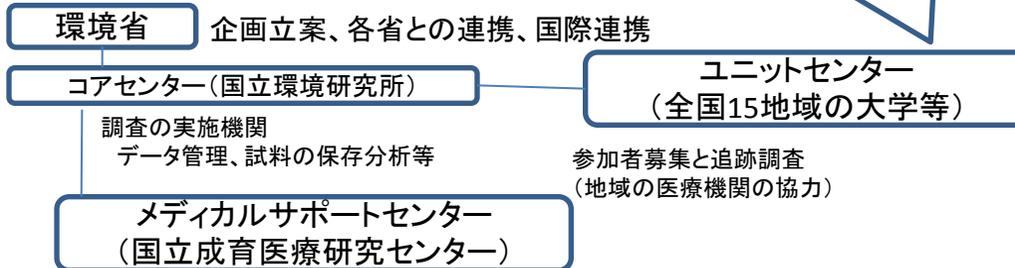


H22年4月、環境大臣より認定書授与
①北海道 ②宮城 ③福島 ④千葉
⑤神奈川 ⑥甲信 ⑦富山 ⑧愛知
⑨京都 ⑩大阪 ⑪兵庫 ⑫鳥取
⑬高知 ⑭福岡 ⑮南九州・沖縄

【これまでの経緯と今後の展開】

- 平成23年1月 参加者の募集・登録開始
- 平成24年10月 放射線の健康影響に対する国民の不安の解消に資するため、福島県内の調査地域を福島市等14市町村から全県に拡大
- 平成26年3月 参加者の募集・登録終了
- 平成39年 追跡調査終了

【実施体制】



【期待される成果】

- 化学物質が子どもの健康に与える影響を解明
- 放射線の健康影響を長期にわたって見守り
- 全国最大規模のバイオバンクの確立

本予備費で
加速させる

子どもの脆弱性に配慮した化学物質管理
安全・安心な子育て環境の実現

オールジャパンのコホート・バイオバンクに貢献
個別化医療等のライフサイエンスの進展に寄与